

2024 年 SF 回顧資料 (国内 SF 出版リスト)

(提供・香月祥宏氏)

- 香月 (SF マガジン国内 SF レビュー欄担当) が、原稿執筆の前段階で“取り上げる可能性がある”として編集部へ提出したリストが元になっています。
- あくまでも打ち合わせ用です。網羅的・厳密なリストを意図したものではないので、細かいチェックはしていません。参考資料のひとつとしてご覧ください。
- 香月が実際に SF マガジンで紹介したものだけでなく、結果的に他の欄 (ファンタジイ、ホラーなど) で扱われたものの、誌面では取り上げられなかったもの等も含まれます。
- 日付はネットで確認できる発売日の場合と奥付の場合があります。

1 月	高瀬隼子『め生える』 (U-NEXT) 1/6
	白川尚史『ファラオの密室』 (宝島社) 1/9
	夏海公司『セピア×セバレート 復活停止』 (電撃文庫) 1/10
	九段理江『東京都同情塔』 (新潮社) 1/17
	小砂川チト『猿の戴冠式』 (講談社) 1/19
	波木銅『ニュー・サバービア』 (太田出版) 1/19
	森見登美彦『シャーロック・ホームズの凱旋』 (中央公論新社) 1/22
	林譲治『知能侵蝕 1』 (ハヤカワ文庫 JA) 1/24
	人間六度『トンデモワンダーズ (上・下)』 (メディアワークス文庫) 1/25
	天沢時生『Uh-Oh』 (anon press) 1/28
	佐藤正午『冬に子供が生まれる』 (小学館) 1/30
	塩谷駿『ミノタウロス現象』 (KADOKAWA) 2/2
2 月	秋木真『助手が予知できると、探偵が忙しい』 (文春文庫) 2/6
	彩坂美月『double~彼岸荘の殺人~』 (文春文庫) 2/9
	中山七里『有罪、と A I は告げた』 (小学館) 2/14
	田中芳樹『走無情』 (講談社) 2/15
	宮内悠介『国歌を作った男』 (河出書房新社) 2/15
	『夏目漱石ファンタジア』 零余子 (富士見ファンタジア文庫) 2/20
	川崎大助『素浪人刑事』 (早川書房) 2/20
	榊林銘『毒入り火刑法廷』 (光文社) 2/21
	松城明『観測者の殺人』 (双葉社) 2/21
	fudaraku『竜胆の乙女 わたしの中で永久に光る』 (メディアワークス文庫) 2/24
	松樹凜『射手座の香る夏』 (創元日本 SF 叢書) 2/29
	藍内友紀『天使と石ころ』 (早川書房) 2/20
	大野露井『塔のない街』 (河出書房新社) 2/20
	白倉由美『夜明けと白と屍の病』 (星海社) 2/28
	高橋源一郎『DJ ヒロヒト』 (新潮社) 2/29
3 月	田中空『未来経過観測員』 (KADOKAWA) 3/4
	間宮改衣『ここはすべての夜明けまえ』 (早川書房) 3/6
	明治依吹『アルゴリズムの乙女たち』 (徳間文庫) 3/8

4 月	東崎惟子『少女星間漂流記』 (電撃文庫) 3/8
	新井素子『定年物語』 (中央公論新社) 3/8
	蜂須賀敬明『さよなら凱旋門』 (文藝春秋) 3/11
	冬乃くじ『猫の上で暮らす一族の話』 (惑星と口笛ボックス) 3/14
	糸川乃衣『我らは群れ』 (Kaguya Books) 3/16
	高島雄哉『はじまりの青: シンデュアリテイ:ルーツ』 (創元 SF 文庫) 3/18
	小平麻衣子・井原あや・尾崎名津子・徳永夏子『サンリオ出版大全』 (慶應義塾大学出版局) 3/18
	持地佑季子『ハツコイハツネ』 (集英社文庫) 3/19
	草野原々『コズミック・アルケミスト』 3/20
	田丸雅智『白線以外、踏んだらアウト』 (光文社) 3/21
	宇野碧『繭の中の街』 (双葉社) 3/21
	佐川恭一『就活闘争 20XX』 (太田出版) 3/26
	坂崎かおる『嘘つき姫』 (河出書房新社) 3/27
	吉村萬壱『みんなのお墓』 (徳間書店) 3/27
	日本 SF 作家クラブ・嵯峨景子編『少女小説と SF』 (星海社 FICTIONS) 3/28
	南海遊『早劫館超連続殺人事件 魔女は X と死ぬことにした』 (星海社 FICTIONS) 3/28
	森晶磨『切断島の殺戮理論』 (星海社 FICTIONS) 3/28
	早坂吝『VR 浮遊館の謎 探偵 A I のリアル・ディーブラーニング』 (新潮文庫 nex) 3/28
	阿泉来堂『逆行探偵 烏間社吾の憂鬱な使命』 (産業編集センター) 4/15
	穂波了『忍鳥摩季の紳士的な推理』 (双葉社) 4/17
門田充宏『ウィンズテイル・テイルズ 時不知の魔女と刻印の子』 (集英社文庫) 4/19	
木村浪漫『イエロージャケット/アイスクリーム』 (早川書房) 4/23	
林譲治『知能侵蝕 2』 (ハヤカワ文庫 JA) 4/23	
五条紀夫『アイデアの再臨』 (新潮文庫 nex) 4/24	
吉上亮『テトラド 1 統計外暗数犯罪』 (角川文庫) 4/25	
八潮久道『生命活動として極めて正常』 (KADOKAWA) 4/24	
大澤博隆監修『AI を生んだ 100 の SF』 (ハヤカワ新書) 4/24	
日本 SF 作家クラブ編『SF 作家はこう考える 創作世界の最前線をたずねて』 (Kaguya Books) 4/27	
空木春宵『感傷ファンタスマゴリィ』 (創元日本 SF 叢書) 4/30	

	津原泰水『羅刹国通信』（東京創元社）4/30
	小林泰三『時空争奪 小林泰三 SF 傑作選』（創元 SF 文庫）4/30
	諏訪哲史『昏色の都』（国書刊行会）4/30
5 月	貫井徳郎『ひとつの祖国』（朝日新聞出版）5/7
	池澤春菜『わたしは孤独な星のように』（早川書房）5/9
	萬屋博喜『SF マンガで倫理学 何が善くて何が悪いのか』（さくら舎）5/9
	山野浩一、岡和田晃編『レヴォリューション+1』（小鳥遊書房）5/10
	不破有紀『はじめてのゾンビ生活』（電撃文庫）5/10
	山野辺太郎『恐竜時代が終わらない』（書肆侃侃房）5/15
	金子玲介『死んだ山田と教室』（講談社）5/15
	池谷和裕『フルトラッキング・プリンセサイザ』（書肆侃侃房）5/20
	門田光博『ウィンズテイル・テイルズ 封印の繭と運命の標』（集英社文庫）5/21
	日本 SF 作家クラブ編『地球への SF』（ハヤカワ文庫 JA）5/22
	冲方丁『マルドゥック・アナニマス 9』（ハヤカワ文庫 JA）5/22
	高野史緒『ビブリオフォリア・ラブソディ』（講談社）5/23
	東野圭吾『クスノキの女神』（実業之日本社）5/23
	内藤了『メデューサの首 微生物研究室特任教授・坂口信』（角川ホラー文庫）5/24
	稲葉振一郎『宇宙・動物・資本主義——稲葉振一郎対話集』（晶文社）5/24
	宮澤伊織『裏世界ピクニック 9 第四種たちの夏休み』（ハヤカワ文庫 JA）5/25
	齋藤隼飛編『野球 SF 傑作選 ベストナイン 2024』（Kaguya Books）5/27
	白石一文『Timer』（毎日新聞社）5/27
	鯨井あめ『沙を噛め、肺魚』（講談社）5/29
	6 月
八女深海『カミガカリ 不自然言語処理殺人事件』（小学館文庫）6/6	
猿場つかさ『海にたゆたう一文字に』（ゲンロン SF 文庫）6/7	
山尾悠子『初夏ものがたり』（ちくま文庫）6/10	
石田祥『火星より、応答せよ、妹』（光文社文庫）6/11	
井上雅彦監修『屍者の凱旋 異形コレクション LVII』（光文社文庫）6/11	
吉上亮『テトラド 2 統計外暗数犯罪』（角川文庫）6/13	
芦沢央『魂婚心中』（早川書房）6/19	
宇津木健太郎『猫と罰』（新潮社）6/19	
守野伊音『惑う星の解決法』（新紀元社）6/20	
「幻想と怪奇」編集室編『幻想と怪奇 不思議な本棚 ショートショート・カーニヴァル』（新紀元社）6/21	
万城目学『六月のぶりぶりぎっちゃん』（文藝春秋）6/24	

	牧野修『狼奇の贅 県警特殊情報管理室・桜庭有彩』（メディアワークス文庫）6/25
	柞刈湯葉『幽霊を信じない理系大学生、霊媒師のバイトをする』（新潮文庫 nex）6/26
	緒乃ワサビ『天才少女は重力場で踊る』（新潮文庫 nex）6/26
	伊東麻紀『根の島』（アトリエサード）6/27
	枯野瑛『輪転式ステレオブティコン -jailed in 2002-』（KADOKAWA）6/28
	海老原豊『ディストピア SF 論 人新世のユートピアを求めて』（小鳥遊書房）6/28
7 月	朝比奈あすか『いつか、あの博物館で。』（東京書籍）7/1
	篠田節子『四つの白昼夢』（朝日新聞出版）7/5
	門田充宏『記憶翻訳者 あなたに遺す物語』『ファースト・エクスペリエンス・エクスペリメント』（KDP）7/8
	『サイボーグ 009 トリビュート』（河出文庫）7/9
	志駕晃『令和 人間椅子』（文春文庫）7/9
	濱口倫太郎『コイモドリ 時をかける文学恋愛譚』（幻冬舎）7/11
	実石沙枝子『物語を継ぐ者は』（祥伝社）7/11
	町井登志夫『枕争子 突撃清少納言』（祥伝社文庫）7/11
	朝比奈秋『サンショウウオの四十九日』（新潮社）7/12
	荒巻義雄『天蓋都市ヒカル』（小鳥遊書房）7/12
	安野貴博『松岡まどか、起業します AI スタートアップ戦記』（早川書房）7/18
	吉本ばなな『下町サイキック』（河出書房新社）7/18
	小林泰三『五人目の告白 小林泰三ミステリ傑作選』（創元推理文庫）7/19
	東山彰良『邪行のビビウ』（中央公論新社）7/23
	砂川文次『越境』（文藝春秋）7/24
	獅子吼れお『Q eND A』（角川ホラー文庫）7/25
	阿津川辰海『バーニング・ダンサー』（KADOKAWA）7/26
	円城塔『ムーンシャイン』（創元日本 SF 叢書）7/27
	高島雄哉『ホロニック ガール』（創元 SF 文庫）7/27
	大濱譜美子『三行怪々』（河出書房新社）7/29
福郎『宇宙戦争掲示板 -1 人なんかおかしいのがいるけど-』（KADOKAWA）7/30	
林譲治『知能侵蝕 3』（ハヤカワ文庫 JA）7/30	
浅生鴨『浅生鴨短篇小説集 四メートルの過去』（左右社）7/31	
8 月	穂波了『月面にアームストロングの足跡は存在しない』（KADOKAWA）8/2
	奥泉光『虚史のリズム』（集英社）8/5
	プロハンバーガー『昭和架空史』（辰巳出版）8/6
	松崎友理『山手線が転生して加速器になりました。』（光文社文庫）8/7
	金子玲介『死んだ石井の大群』（講談社）8/7
五条紀夫『私はチクワに殺されます』（双葉文庫）8/7	

	〈紙魚の手帖 Vol.18 GENESIS〉 (東京創元社) 8/16
	上条一輝『深淵のテレパス』 (東京創元社) 8/16
	王城夕紀『ノマディアが残された』 (中央公論新社) 8/20
	春暮康一『一億年のテレスコープ』 (早川書房) 8/21
	西式豊『鬼神の檻』 (ハヤカワ文庫 JA) 8/21
	白井智之『ぼくは化け物きみは怪物』 (光文社) 8/21
	上田岳弘『多頭獣の話』 (講談社) 8/22
	羽田圭介『タブー・トラック』 (講談社) 8/22
	宮西建礼『銀河風帆走』 (創元日本 SF 叢書) 8/23
	式月一録『死神のイノリ』 (角川文庫) 8/23
	島田雅彦『大転生時代』 (文藝春秋) 8/23
	西澤保彦『彼女は逃げ切れなかった』 (PHP 研究所) 8/26
	朝井まかて『青姫』 (徳間書店) 9/27
	河野裕『彗星を追うヴァンパイア』 (KADOKAWA) 8/29
	荒巻義雄・巽孝之編『SF 評論入門』 (小鳥遊書房) 8/30
	北野勇作『かめたいむ』『交差点の天使』 (ネコノス文庫) 8/31
9月	山田宗樹『鑑定』 (角川春樹事務所) 9/8
	円城塔『コード・ブダ 機械仏教史縁起』 (文藝春秋) 9/11
	乙一『大樹館の幻想』 (星海社 FICTIONS) 9/18
	小松立人『そして誰もいなくなるのか』 (東京創元社) 9/19
	藤井太洋『マン・カインド』 (早川書房) 9/19
	大恵和実編『日中競作唐代 SF アンソロジー 長安ラッパー李白』 (中央公論新社) 9/19
	西澤保彦『ファイナル・ウィッシュ ミューステリオン館』 (星海社 FICTIONS) 9/19
	斜線堂有紀『ミステリ・トランスミッター』 (双葉社) 9/19
	大石大『いいえ私は幻の女』 (祥伝社) 9/20
	長嶋有『僕たちの保存』 (文藝春秋) 9/25
	榎本憲男『エア-3.0』 (小学館) 9/25
	伊与原新『藍を継ぐ海』 (新潮社) 9/26
	三秋緋『さくらのまち』 (実業之日本社) 9/26
10月	トウキョウ下町 SF 作家の会編『トウキョウ下町 SF アンソロジー この中に僕たちは生きている』 (Kaguya Books) 10/1
	貴志祐介『さかさ星』 (KADOKAWA) 10/2
	朝井リョウ『生殖記』 (小学館) 10/2
	壁井ユカコ『不機嫌な青春』 (集英社) 10/4
	高山羽根子『バンダ・バシフィカ』 (朝日新聞出版) 10/7
	小川哲『スメラミシング』 (河出書房新社) 10/10
	白石一文『代替伴侶』 (筑摩書房) 10/15
石野晶『いつか会ったあなたと、きっと出会う君に』 (双葉社) 10/17	

	井上雅彦『宵闇色の水瓶 怪奇幻想短編集』 (新紀元社) 10/18
	SF マガジン編集部編『恋する星屑 BLSF アンソロジー』 (ハヤカワ文庫 JA) 10/23
	林譲治『知能侵蝕 4』 (ハヤカワ文庫 JA) 10/23
	洛日二十日『ダキョウソウ』 (新紀元社) 10/23
	人間六度『推しはまだ生きているか』 (集英社) 10/25
	柴田勝家『カタリゴト 帝都宵闇伝奇譚』 (角川ホラー文庫) 10/25
	大沢在昌『夜刑事』 (水鈴者) 10/31
	高嶋哲夫『チェーン・ディザスターズ』 (集英社) 11/5
	田中慎弥『死神』 (朝日新聞出版) 11/7
	SF マガジン編集部編『AI と SF2』 (ハヤカワ文庫 JA) 11/20
11月	十三不塔『ラブ・アセンション』 (ハヤカワ文庫 JA) 11/20
	野崎まど『小説』 (講談社) 11/20
	垣谷美雨『マンダラチャート』 (中央公論新社) 11/20
	坂崎かおる『箱庭クロニクル』 (講談社) 11/20
	飛浩隆『鹽津城』 (河出書房新社) 11/26
	東郷隆『異端考古学者向井幸介 1994 年の事件簿』 (星海社 FICTIONS) 11/27
	藤井太洋『まるで渡り鳥のように 藤井太洋 SF 短編集』 (創元日本 SF 叢書) 11/29
	宮内悠介『暗号の子』 (文藝春秋) 12/5
	井上雅彦監修『異形コレクション LVIII メロディアス』 (光文社文庫) 12/11
	住野よる『歪曲済アイラービュー』 (新潮社) 12/18
12月	吉田親司『時空改変戦艦「大和」(上・下)』 (ヴィクトリーリベルズ) 12/18
	澤村伊智『頭の大きな毛のないコウモリ 澤村伊智異形短編集』 (光文社) 12/18
	大倉崇裕『怪獣殺人捜査 高高度の死神』 (二見書房) 12/19
	藤琉『聖武天皇素数秘史』 (ゲンロン SF 文庫) 12/20
	『君に贈る 15 ページ』 (メディアワークス文庫) 12/25